

# 名古屋経済

## 航空機用CAD事業構築

### 各務原に研究拠点

#### 産学連携で 第2の柱へ 人材育成も積極化

#### キャリオ技研

三次元CAD設計のキャリオ技研(本社名古屋市中村区名駅二ノ三八ノ二・オーキッドビル四階、富田茂社長、電話052・627・0495)は、自動車産業向けに続く第二の事業の柱として、航空機用三次元CAD事業の構築に着手する。同事業の拠点として、各務原市テクノプラザのインキュベーション施設アネックス・テクノ2に研究室を確保。航空機関連部品の設計・教育ツールの開発や設計受託、航空機産業の人材の育成に取り組んでいく。(津田一孝)

を計画。航空機用レシ育成事業にも着手。テクノ2の最長入居期間である五年を目標に、部品の設計・開発に携わるのに加え、人材の第一の柱事業の確立を

同社は、自動車業界「ピシシステム」を開発。の企業を主な顧客対象設計受託のみならず、として三次元CADにCAD技術者の教育活動による部品の開発、設計、製作に携わっている。設計ツールとして、CAD技術者が設計作業をしながら設計技術を習得できる独自の設計に航空機ベンチャー・教育システム「レシプロジェクト」の立ち上げ



富田社長と飛行実験のための模型飛行機(アネックス・テクノ2のインキュベートルームで)

目指していく。大いに「単に設計を受託するのではなく、飛行機技術を体感し、発想を形にする喜びを知る技術者を育てていきたい」(富田社長)として、産学連携による飛行ロボットの製作も推進。『空飛ぶ自動車という夢の実現』をコンセプトに、飛行、遠隔操作、自律移動、クリーンエネルギーなどの技術的課題に挑戦していく。

すでに模型飛行機を製作して飛行実験などを実施しており、「CAD設計という枠を超え、航空機産業を支える人材の育成を目指していきたい」(同)考